

インフルエンサーマーケティングプラットフォーム「AnyTag」、中国で人気のSNS「RED（小紅書）」のインフルエンサーデータへの対応を開始
月間アクティブユーザー3億人以上のREDを活用した、インフルエンサーマーケティング施策の実施が可能に



AnyMind Group株式会社（読み：エニーマインドグループ、代表取締役CEO：十河 宏輔、以下「当社」）が提供するインフルエンサーマーケティングプラットフォーム「AnyTag」は、中国で高い人気を誇るライフスタイル&ソーシャルコマースプラットフォーム「RED（小紅書）」のインフルエンサーデータへの対応を開始しました。これによりインフルエンサーのデータ分析やマーケティングキャンペーンの実施が可能になり、REDを活用したインフルエンサーマーケティングを支援します。

【RED（小紅書）について】

REDは、月間アクティブユーザー数が3億人以上^{*1}にものぼる、中国を代表するライフスタイルに特化し、EC機能を備えたSNSプラットフォームです。ユーザーが日常生活で見つけた商品やサービス、体験を共有し合うコミュニティとして高い人気を誇っています。

URL : <https://www.xiaohongshu.com/explore>

*1 : [一枚の図でわかるRED（小紅書）の「新しいマーケティングエコシステム」](#)

REDは、ライフスタイル、旅行、ファッショントピック、美容といった分野での情報発信プラットフォームとして、特に中国のZ世代・ミレニアル世代を中心に高い人気を集めており、月間アクティブユー

ユーザー数は3億人を超え、ユーザー同士がリアルな体験をシェアすることで信頼性の高いコンテンツが生まれ、購買意欲を高める場となっています。

また、中国市場の成長に伴い、訪日中国人観光客（インバウンド）の購買行動にも大きな影響を与えており、観光やショッピングに関する投稿の増加に伴って、訪日旅行前にREDを活用して情報収集を行う消費者が急増しています。日本をはじめとするアジアの企業にとって、REDを活用したインフルエンサーマーケティングは中国市場だけでなく、インバウンド向けのプロモーション施策としても重要性を増しています。

AnyTagは、REDのほか、抖音（Douyin）、Instagram、Facebook、X、TikTok、YouTubeのデータとも、すでに連携しており、各種SNSのインフルエンサーの投稿頻度、エンゲージメント、フォロワー数の推移、フォロワー層のデモグラフィック分析など、多角的なデータ分析が可能です。こうした分析を活用することで、ブランドに最適なマーケティング施策を策定し、インフルエンサーの選定からキャンペーンの実施まで一貫して対応できます。また、AnyTag上で施策の投稿管理や効果測定も行えます。

【参考】

[AnyMind Group、中国で人気のSNS「RED（小紅書）」のトップパートナーに認定](#)

■AnyMind Group 共同創業者兼代表取締役CEO 十河 宏輔のコメント

REDは、中国国内向けのマーケティングにとどまらず、訪日観光客をターゲットとしたインバウンドマーケティングへの活用事例も増えています。こうした需要を取り込みたい日本企業にとって、REDを活用したマーケティング施策は重要な戦略の一つとなっています。今後も当社は、ブランド企業のさらなる成長を後押しするため、プロダクト開発強化とローカルネットワークの拡充を進め、より効果的なマーケティングソリューションを提供してまいります。

■インフルエンサーマーケティングプラットフォーム「AnyTag」



AnyTagは、企業のインフルエンサーマーケティングを支援するプラットフォームです。インサイト分析を活用し、最適なインフルエンサーの選定やキャスティングを行い、キャンペーン実施後も投稿のリアルタイムレポートや効果測定を提供します。また、SNSアカウントと連携できるため、企業のSNS運用管理ツールとしても活用可能です。2024年12月末時点で、世界45以上の国・地域の87万人以上のインフルエンサーにアクセス可能です。

URL : <https://anytag.jp/ja/>

■AnyMind Groupについて



プレスリリース
報道関係者各位



AnyMind Group株式会社
2025年3月24日

AnyMind Groupは、2016年にシンガポールで創業し、アジア市場を中心に15カ国・地域に拠点を構えるテクノロジーカンパニーです。EC・マーケティング・生産管理・物流などの領域で、11個のプラットフォームやソリューションを展開。プラットフォームとオペレーション支援を組み合わせた「BPaaS」（Business Process as a Service）モデルで提供することで、DX推進と業務の効率化・省人化を実現し、クライアントの事業成長に貢献します。東証グロース上場（証券コード：5027）。

URL : <https://anymindgroup.com/ja/>

【本件に関する報道・メディア関係者からのお問合せ先】

AnyMind Group株式会社
Communications（広報・PR）
メールアドレス：jp-pr@anymindgroup.com